

西海国立公園
九十九島ビジターセンター

特別展

「生涯に一度は、
飛びたい空間だった。」

Air-Photographer
多胡 光純

九十九島を飛ぶ

展示室内にて初公開 ・九十九島空撮映像
・メイキング映像

世界で活躍する飛行撮影家 多胡光純氏による九十九島映像。
その撮影の舞台裏、多胡氏をも惹きつけた九十九島の真の魅力とは。

2012. 2. 11 |sat| — 2012. 3. 31 |sat|

西海国立公園九十九島ビジターセンター 2階レクチャールーム
(西海パールシーリゾート 九十九島遊覧船ターミナル横)

|開催時間| 9:00 - 17:00 |入場料| 無料 |定休日| 年中無休

主催/佐世保市、させほパール・シー株式会社 後援/九州地方環境事務所、長崎県 協力/そらとり株式会社(多胡光純)、財団法人佐世保観光コンベンション協会
西海国立公園九十九島ビジターセンター 〒858-0922 長崎県佐世保市鹿子前町1053-2 TEL 0956-28-7919 <http://kujukushima-visitorcenter.jp/>

Air-Photographer

多胡 光純

九十九島を飛ぶ



エアフォトグラファー多胡光純と九十九島

出会うべくして出会った、飛行撮影家と雄大な景色。両者のコラボレーションとも呼ぶべき美しい映像作品を、メイキング映像とともに、このたび九十九島ビジターセンターにて初公開。それにあわせ、多胡氏の活動記録や、撮影に使用する機材を紹介し、作品制作の舞台裏にせまります。九十九島の数々の絶景写真もお見逃しなく。

モーターパラグライダーを自在に操り、地上5,000メートルから海面50センチメートルまで、大空を自由に駆け巡りながら、まるで鳥のような目線で自然のダイナミズムを映像に捉える、エアフォトグラファー多胡光純氏。その映像作品は、見るものを惹きつけてやみません。

NHKの「天空の旅人シリーズ」で、一躍その存在が注目を集め、国内のみならず世界中の空を飛びながら多くのメディアで精力的に活動する多胡氏。その多胡氏に、このたび、佐世保市の空撮を依頼。旧軍港ならではのおもむきが残る佐世保港、まちなか、そして九十九島の雄大な自然の姿がフィルムに収められました。

「生涯に一度は、飛びたい空間だった。」

西海国立公園九十九島。地球上でもまれにみる地形、外洋性多島海であるこの場所は、豊かな自然と人間の営みが共存する場でもあります。

「自然への興味がそこに生きる人への興味へつながり、その二つを包み込む空間を知りたくなる。」という多胡氏にとって、九十九島は以前からぜひ飛んでみたかった場所だといいます。

エアフォトグラファー多胡光純と九十九島。両者のコラボレーションとも呼ぶべき美しい映像作品をこのたび、初公開します。

人々を魅了しつづける九十九島の自然美をあらためて体感してください。



多胡 光純 たご てるよし

エアフォトグラファー。1974年、東京生まれ。獨協大学卒。学生時代は探検部に所属。旅とモーターパラグライダーによる空撮を軸に作家活動を行っている。主な活動に「マッケンジー川漕飛行」「天空の旅人 紅葉列島を飛ぶ」「桜の春を飛ぶ」などがあり、2010年からは日本を100ヶ所にわたり旅し空撮する「天空の旅人 日本の空を旅する100」に取り組んでいる

●多胡光純公式サイト <http://www.tagoweb.net/>



西海国立公園九十九島ビジターセンター 2階レクチャールーム (西海パールシーリゾート 九十九島遊覧船ターミナル横)

- 開催時間 9:00 - 17:00
- 入場無料
- 定休日 年中無休



交通アクセス

- お車で 西九州自動車道 佐世保中央 IC 下車、出口信号を右折、次の交差点を右折し、そのまま道なりに直進、IC から約7分。
- バスで ● 佐世保駅から市バスパールシーリゾート・九十九島水族館行きで約25分。(30~40分おきに運行)
● JR 特急みどりの時間にあわせて有料シャトルバス(快速)約18分。